

## 議事録要旨

会議の名称	第 1 回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議
開催日時	平成 3 0 年 6 月 2 6 日（火） 1 3 時 3 0 分から
開催場所	勝浦市役所 4 階 大会議室
会議の議題	1. 平成 2 9 年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証 2. 平成 2 9 年度地方創生事業活動報告及び事業検証 3. その他
会議の概要	<p><b>議題（1）平成 2 9 年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証</b>  <b>会議資料</b></p> <p>① 資料 1 ・かつうら観光ぷらっとフォーム事業シート            ② 資料 1 ・企業立地推進事業シート</p> <p><b>概要</b></p> <p>外部委員による国の交付金事業『地方創生推進交付金事業』の事業評価を行うことを目的として、平成 2 9 年度に実施した下記 2 事業の説明を行った。</p> <p>（1） かつうら観光ぷらっとフォーム事業</p> <p><b>質疑要旨</b></p> <p>委 員： K P I - 2 の観光関連雇用創出者数の平成 3 1 年度の目標値 1 5 0 人はどのように設定したのか。</p> <p>担当課： 起業・創業セミナーを通じた新たな起業者と、この起業が起因となる雇用者の創出を合わせて、平成 2 9 年度の K P I を 3 0 人としている。平成 3 1 年度までには起業創業者につながるような取組を行い、少し目標としては高い 1 5 0 人を設定した。</p> <p>委 員： 土産品の開発として、坦々サバ味噌煮の開発をしているというが、どのようなものか。</p> <p>担当課： 現在は瓶詰での提供を考えているが、流通関係なども考慮して決めて行きたい。</p> <p>質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の意義がない旨確認と了承がされた。</p>

## (2) 企業立地推進事業

### 質疑要旨

委員：誘致した企業は旧清海小学校を拠点として事業を行っているとのことだが、施設の貸付条件や企業を誘致したことによる経済的な効果などを聞きたい。

担当課：旧清海小学校の貸付条件は3年間の無償貸付とし、近隣市町や全国的にも同様な状況である。また、製造業などの企業誘致では補助金を交付しているが、それに代わるものとしての無償貸付と考えている。経済的な効果については、法人住民税や従業員等の市内滞在に伴う消費活動もあると考えている。

委員：企業誘致ツアーにおいて7社の参加があり、そのうち前向きな企業があるとのことであるが、どのような起業なのか。

担当課：IT起業の経営者などベンチャー企業であり、内容としては「ぜひ勝浦で仕事をしてみたい」とか「会社の研修として訪れてみたい」という内容であった。

委員：評価をAとした理由は。

担当課：本事業は、千葉県など関係市町との共同事業であるため、KPIの設定は総合的に判断して千葉県で設定しており、勝浦市においては、KPI-2の空き公共施設等への進出企業数が関係している。平成29年度の目標値は県全体で6社のところ、勝浦市だけで2社の進出があったことから、A評価と判断した。

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の意義がない旨確認と了承がされた。

## 議題(2) 平成29年度地方創生事業の活動報告及び事業検証

### 会議資料

- ① 資料2・地方創生総合戦略事業 事業評価シート
- ② 資料5・道の駅整備事業

### 概要

外部委員による勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（以下、総合戦略事業という。）の事業評価を行うことを目的として、平成29年度に実施した総合戦略事業の説明を行った。

### 質疑要旨

委員： No.224 住環境の整備の補助制度における補助金の上限額はいくらか。

事務局： 補助対象経費の10%で、上限50万円となる。

委員： No. 311 婚活の支援では、例えば、氏名等を公表するということではなく、単に成婚に繋がった件数などの数値を把握することは必要ではないか。婚活イベント等がきっかけで成婚やカップル成立した際に、連絡のあった件数でもいいのではないか。

事務局： 現在は、成婚に繋がった件数の把握はしていないと聞いている。事業担当課には、委員の意見を伝えたい。

委員： No. 421 地域交流の拠点、生活利便施設等の整備（小さな拠点）について、道の駅整備は平成35年度竣工という計画となっているが、なぜ時間がかかるのか。

事務局： 資料5にあるとおり、用地取得に平成30年度と平成31年度の2ヵ年を要している。また、認定こども園の整備を10億円規模で行っており、道の駅も15億円規模の事業となる見込のため、市の予算規模が80億円を考慮しても順をおって行う必要があるため、資料にあるようなスケジュールで事業を進めていく。

委員： No. 223 若者定住の推進で奨励金の交付をしているが、移住・定住ということでは、住環境の情報を提供する必要がある。生活するとなれば就職の問題もあり、仕事があったとしてもその人が働きたいと思う職種なのか、市に就職先がなくても通勤圏内にその仕事があればよいとの考えもある。

事務局： 市では、認定こども園の建設による保育環境の充実や大型商業施設の誘致なども行っており、また、議題(1)の説明でもあったように企業誘致の取組も推進しているところである。また、通勤圏内についてもJRの運転本数が減少しているところもあり、JRへの利便性向上の要望活動は継続しているものの、皆様につきましても利用促進について、この場を借りてお願いしたい。

委員： 時間の関係もあると思うが、今回の会議で多くの事業を評価するには時間が短いと考える。2・3日かけてでも事業評価の時間をとってほしいのではないか。また、すべての事業の説明を事務局の企画課で行っているが、より詳しく内容を聞きたい場合もあるので、事業担当課の同席も検討してみてもどうか。

事務局： 今後の会議運営において考慮していきたい。

	<p>委 員 : No. 412 国際武道大学との連携による健康増進において、介護健康課が実施している事業内容と設定しているＫＰＩと全く関係ないとまで言わないが、関係性が薄いと思われるがいかがか。</p> <p>事務局 : 介護健康課が実施している当該事業では特定検診受診率（国民健康保険）に関するＫＰＩを設定しているが、委員の指摘のとおり直接的な関係としては薄いことから、（本事業における目標事項におけるＫＰＩは空欄とするなど）今後の対応としたい。</p> <p>質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の意義がない旨確認と了承がされた。</p>
資料	<p>会議次第</p> <p>委員名簿</p> <p>資料 1 地方創生推進交付金事業 事業評価シート</p> <p>資料 2 地方創生総合戦略事業 事業評価シート</p> <p>資料 3 事業評価基準表</p> <p>資料 4 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各基本目標における数値目標（抜粋）</p> <p>資料 5 道の駅整備事業（概要）</p>